

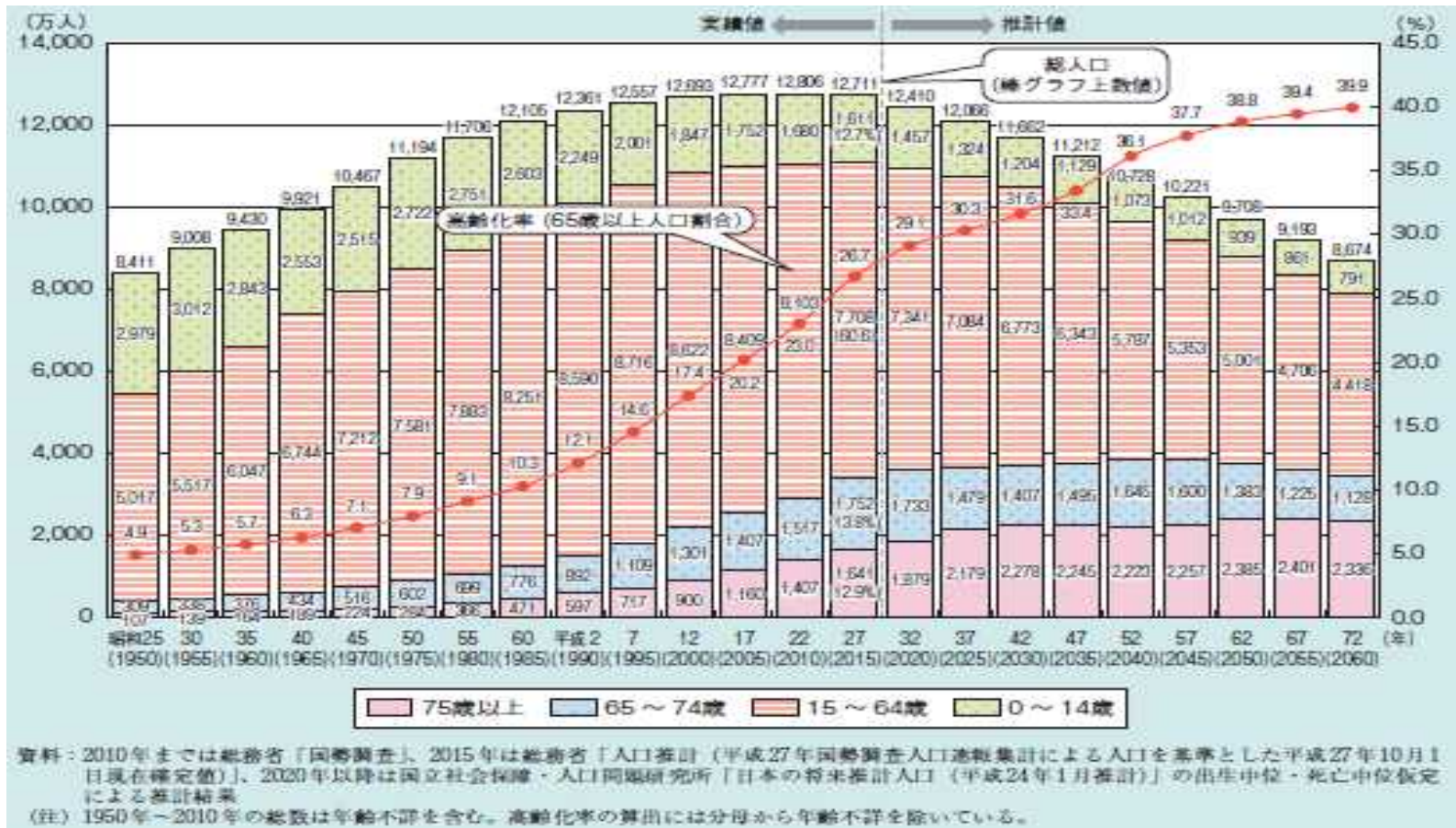
高齢社会の現状と文部科学省の施策等について

平成28年11月7日（月）
文部科学省生涯学習政策局社会教育課



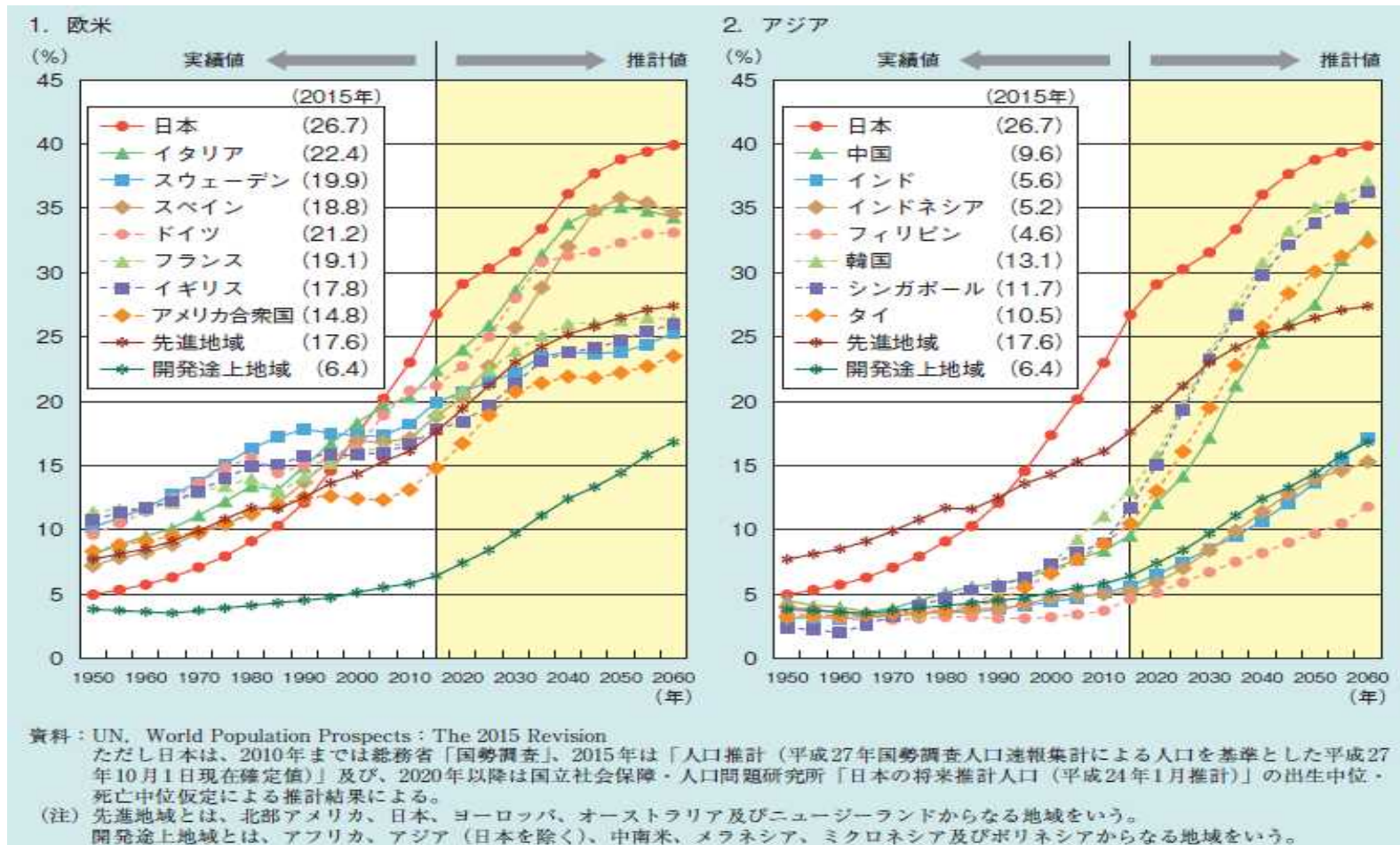
高齢化の推移と将来推計

- 総人口が減少するなかで、高齢化率は上昇。
- 高齢者人口は「団塊の世代」(昭和22(1947)～24(1949)年に生まれた人)が65歳以上となる平成27(2015)年には3,392万人となり、その後も増加。54年(2042)年に3,878万人でピークを迎え、その後は減少に転じるが、高齢化率は上昇すると推計される。



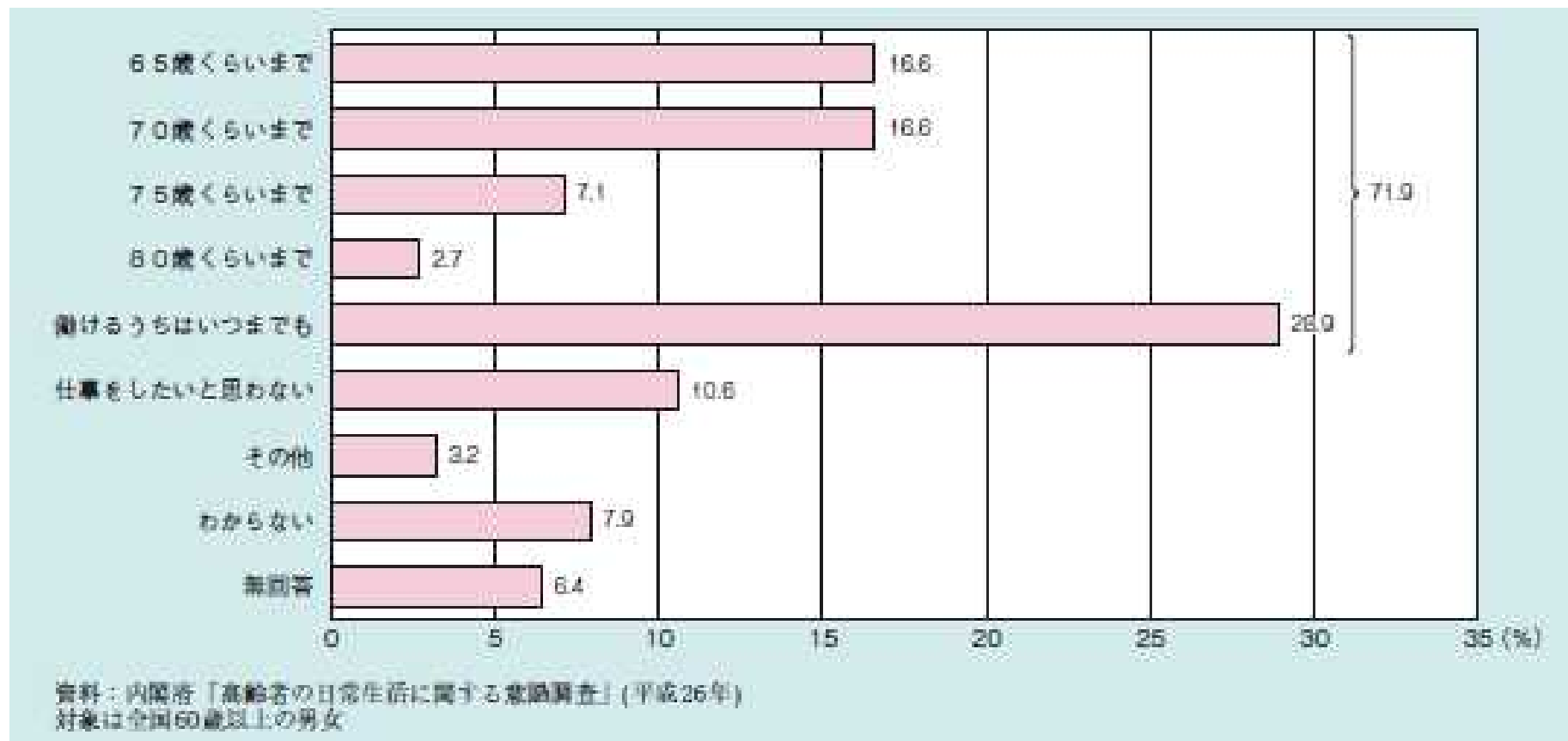
世界の高齢化率の推移

- 我が国の高齢化は、世界で最も高い高齢化率。
- アジア諸国についてみると、急速に高齢化が進み、特に韓国においては、我が国を上回るスピードで高齢化が進行。



高齢者の就労希望状況

○ 60歳以上の高齢者に何歳ごろまで収入を伴う仕事をしたいか聞いたところ、「働けるうちはいつまでも」が28.9%と最も多く、次いで「65歳くらいまで」「70歳くらいまで」がともに16.6%となっており、就労を希望する高齢者の割合は71.9%となっている。



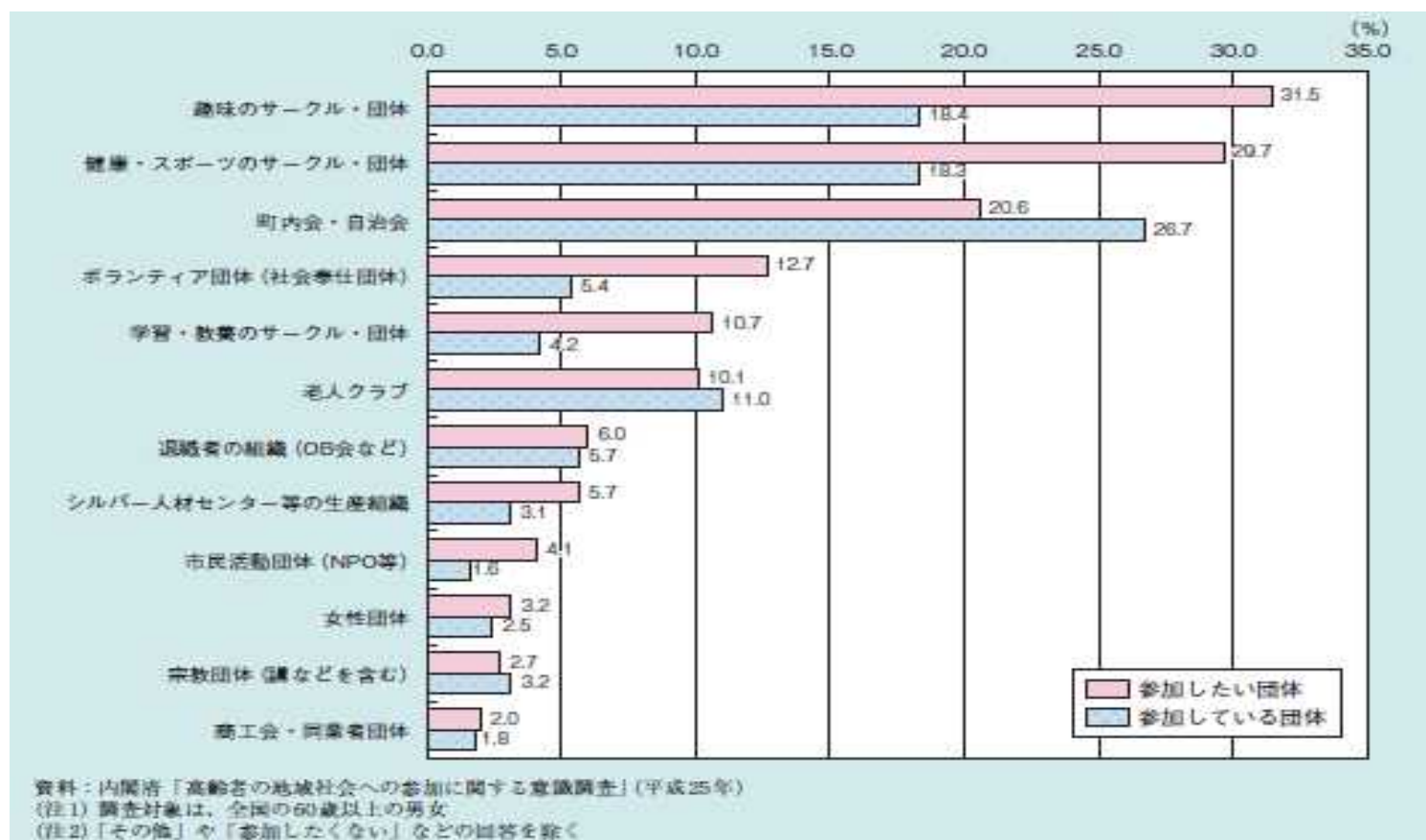
高齢者が行っている生涯学習(複数回答)

○ この1年くらいの間に生涯学習をしたことのある高齢者は、60代でも70歳以上でも4割以上であった。内容は、「趣味的なもの」が最も多く(60代24.6%、70歳以上24.9%)、次いで「健康・スポーツ」(60代23.7%、70歳以上20.3%)となっている。



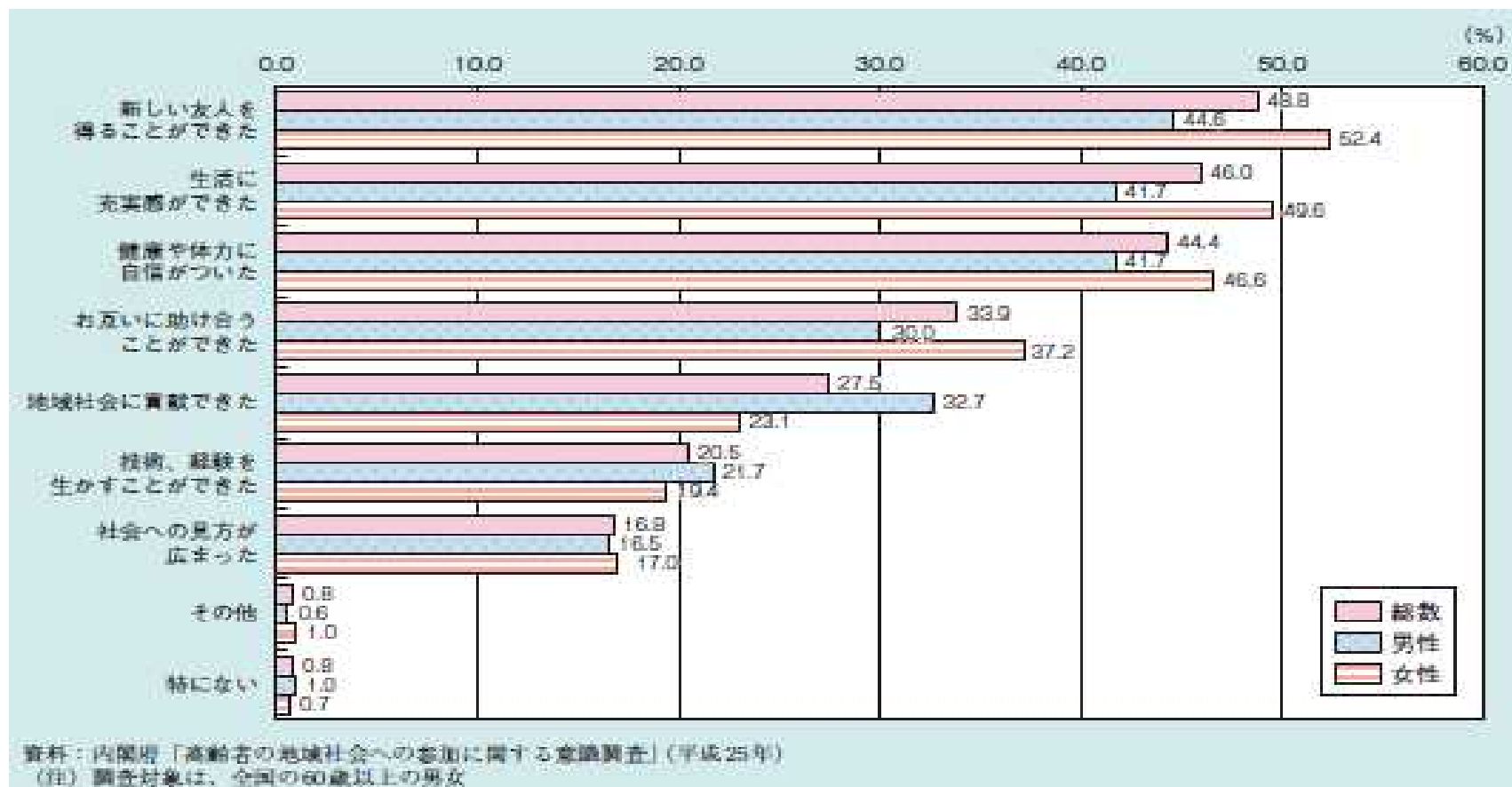
参加したい団体と参加している団体(複数回答)

○ 高齢者が参加したい団体をみると「趣味のサークル・団体」(31.5%)が最も多く、次いで「健康・スポーツのサークル・団体」(29.7%)となっている。また、参加している団体をみると、「町内会・自治会」(26.7%)が最も多く、約4人に1人が参加している。



高齢者のグループ活動参加による効果(複数回答)

○ 自主的なグループ活動に参加したことがある高齢者の、活動全体を通じて参加してよかったことは、「新しい友人を得ることができた」(48.8%)が最も多く、次いで「生活に充実感ができた」(46.0%)、「健康や体力に自信がついた」(44.4%)の順となっている。

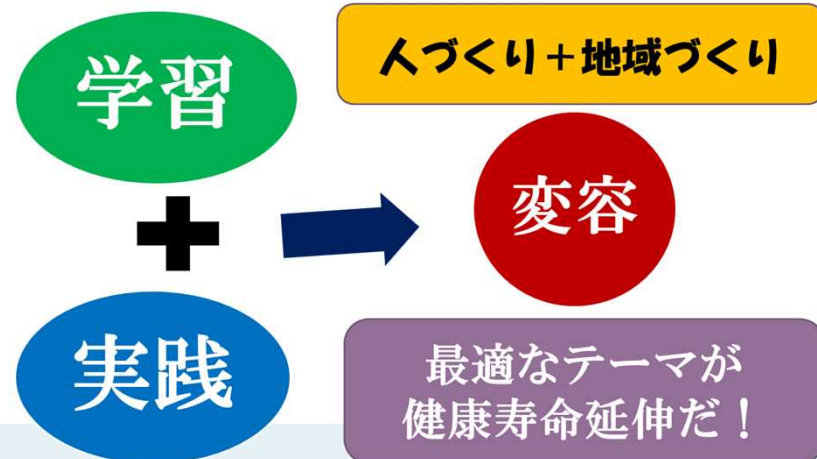


公民館を拠点にした高齢化社会克服プロジェクト (愛媛県新居浜市の事例)

この事業に取り組んだ背景は何？



私たちの考える社会教育は…



生きがいつくりの事業風景

- いきいき年輪塾
(活動リーダー育成)
- 学校支援地域本部
(読み聞かせ)
- 地域の花いっぱい運動



居場所づくりの事業風景

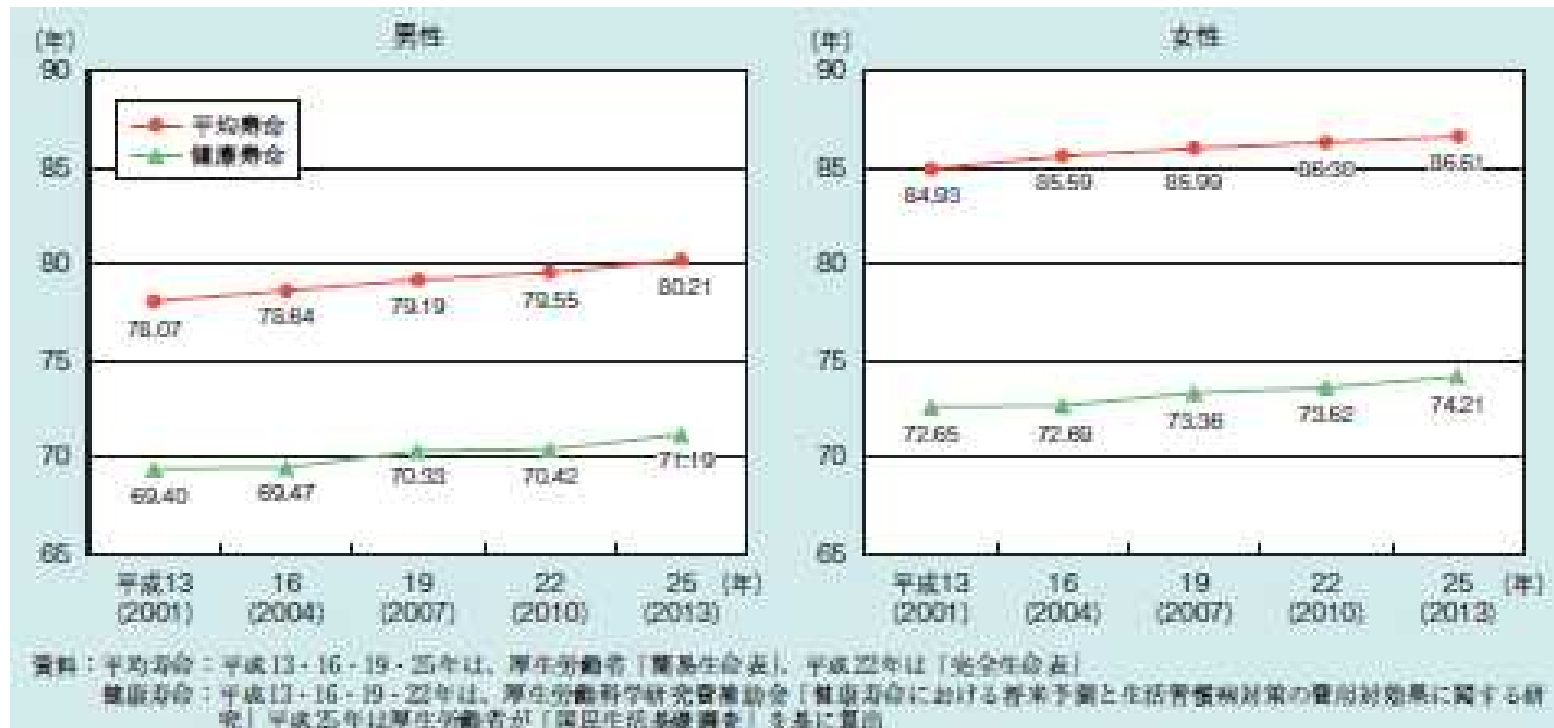
- 食事をしながら交流会
- 振り込め詐欺寸劇
- 認知症防止体操・寸劇



資料:愛媛県新居浜市教育委員会

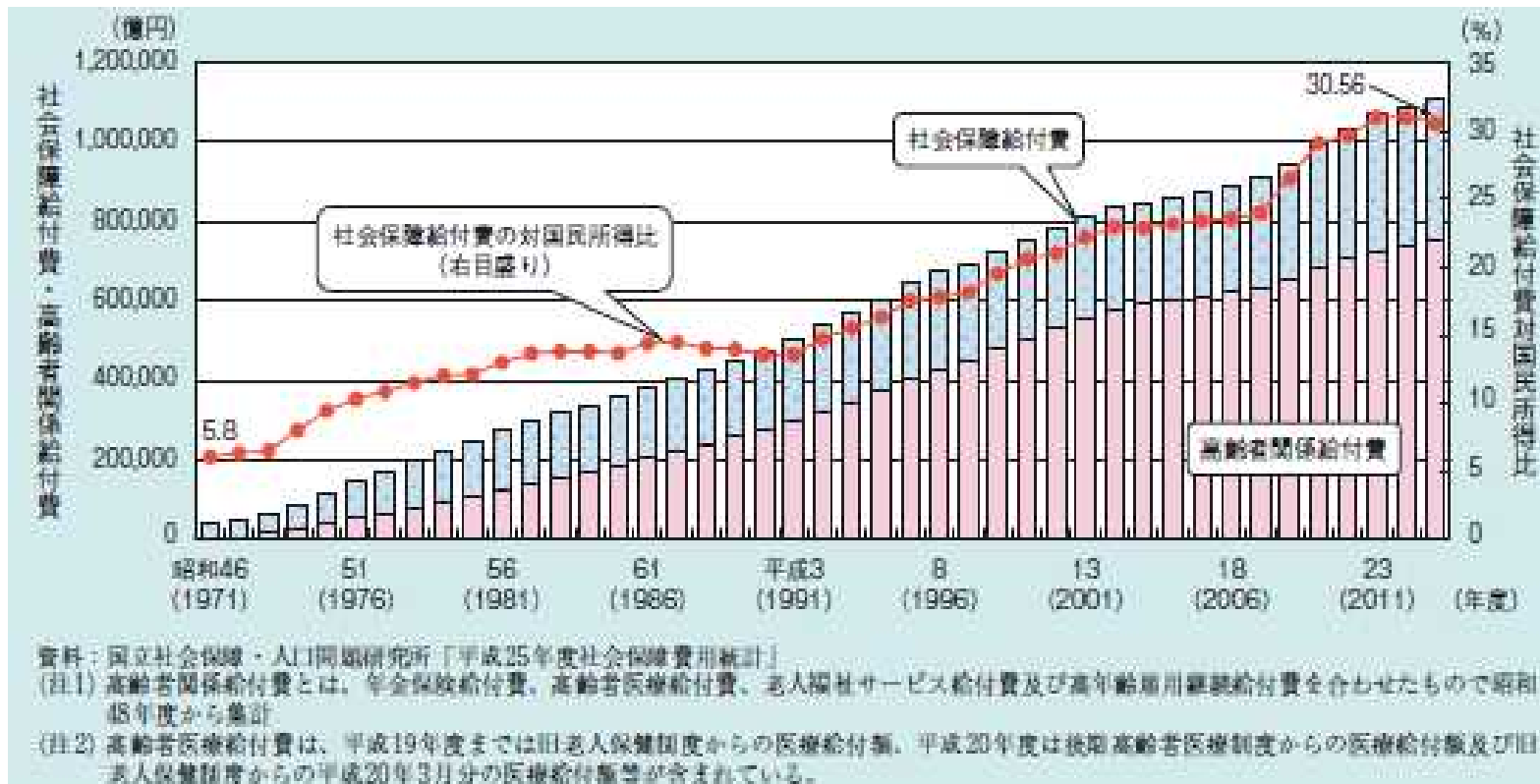
平均寿命と健康寿命の推移

○ 日常生活に制限のない期間(健康寿命)は、平成25(2013)年時点で男性が71.19年、女性が74.21年となっており、それぞれ13(2001)年と比べて延びている。しかし、13(2001)年から25(2013)年までの健康寿命の伸び(男性1.79年、女性1.56年)は、同期間における平均寿命の伸び(男性2.14年、女性1.68年)と比べて小さい。



社会保障給付費の推移

- 社会保障給付金全体について、平成25(2013)年度は110兆6,555億円となり過去最高の水準。
- 国民所得に占める割合は、30.56%(前年比0.41ポイント減)。
- 社会保障給付費のうち、高齢者関係給付費について、平成25年度は75兆6,422億円、社会保障給付費に占める割合は68.4%。



公民館における健康づくりの取組の例

○ 兵庫県加西市

概ね75才以上で体力の低下を感じている方(介護保険の認定を受けていない方)を対象に体力の維持・向上を目指して筋力トレーニング体操、体力測定、健康を保つための栄養バランスの良い食事の摂取方法についての学習などを実施。



(写真) 兵庫県加西市

○ 鹿児島県龍郷町

地域の高齢者らが自ら企画し、生きがいや元気に暮らすきっかけづくりを見つけるサロン活動「どくさ(元気)会」が公民館等で介護予防、健康づくりなどを目的に健康体操やレクリエーションなどを実施。



(写真) 鹿児島県龍郷町

体力年齢の若返りと医療費の抑制効果 (新潟県見附市)

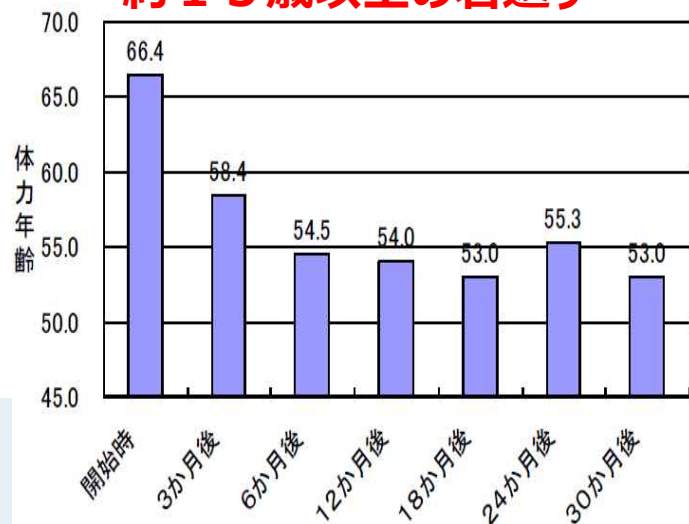
体力年齢の若返りと医療費の抑制効果を実証

H26.3月末現在 1,425人参加中 (教室参加延べ人数 3,005人)

約10万円の抑制効果



約15歳以上の若返り



認知症患者数の推移

○ 65歳以上の高齢者の認知症患者数と有病率の将来推計についてみると、平成24(2012)年は認知症患者数が462万人と、65歳以上の高齢者の7人に1人(有病率15.0%)であったが、37(2025)年には約700万人、5人に1人になると見込まれている。



公民館における認知症予防等の取組の例

○福井県鯖江市

県立医療機関・作業療法士を講師に迎え、認知症予防のための講演会を開催。



(写真) 福井県鯖江市

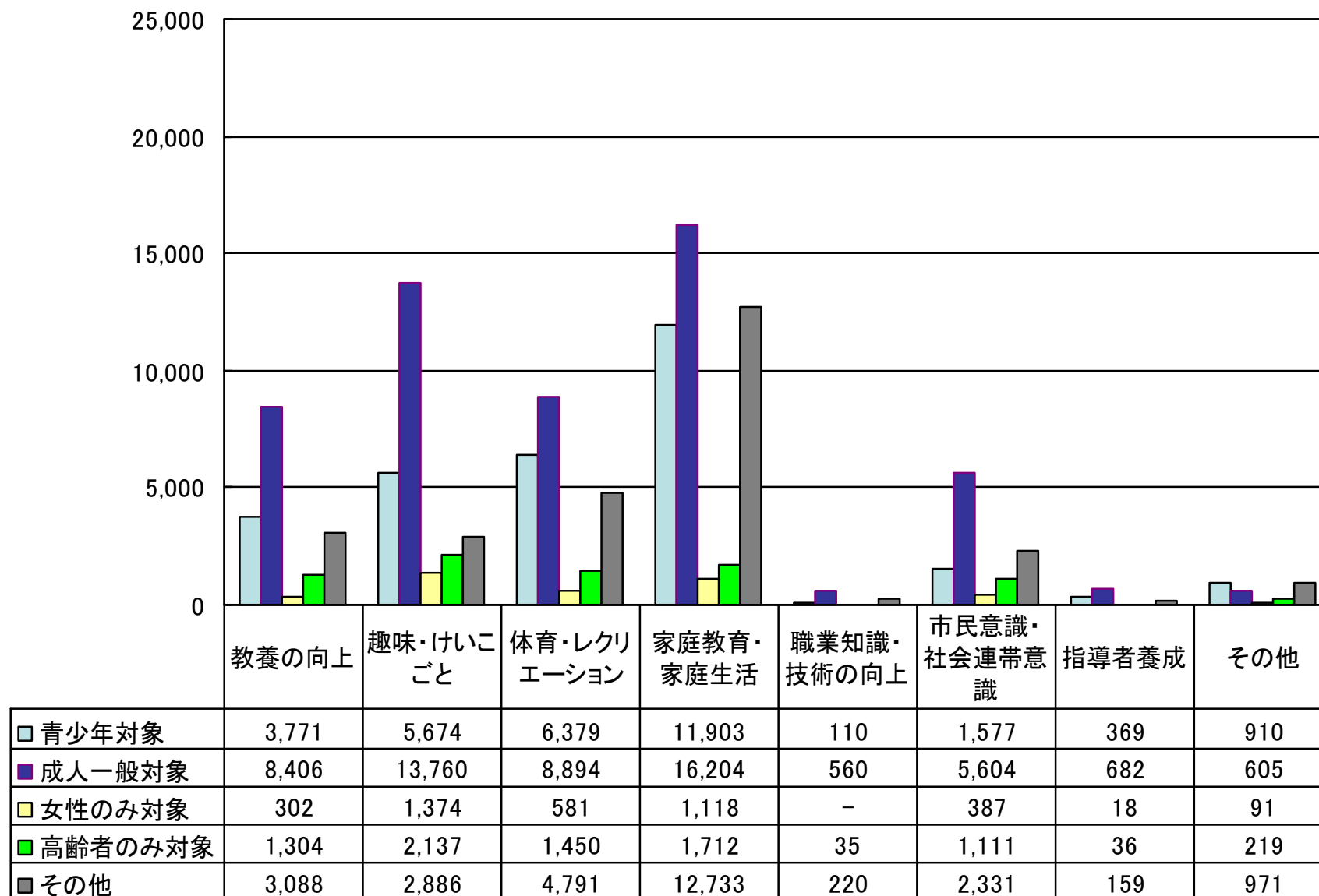
○千葉県茂原市

平成26年から福祉部局と連携し、民間教育事業者が開発した認知症を予防するプログラムを実施。



(写真) 千葉県茂原市

都道府県・市町村教育委員会における学級・講座の開設状況



高齢者による地域活性化促進事業

(前年度予算額 3,154千円)
29年度要求額 3,154千円

趣 旨

多くの高齢者がより一層元気に、豊かな知識・技術・経験を十分に生かしながら、地域の様々な課題解決のために自主的かつ継続的に活躍できる環境を整備することが必要であるため、高齢者施策に関わる地方公共団体の担当者、高齢者の学習・社会参加に関わる団体関係者並びに大学及び企業等の関係者の参画による「長寿社会における生涯学習政策フォーラム(以下「フォーラム」という。)」を開催し、高齢者の主体的な地域参画に関する事例及び関係者やアクティブシニアのネットワークづくりに関するノウハウを共有し、地域参画に意欲を持つ高齢者と活動の場を結びつける環境整備を促進する。

実施内容

○ 高齢者の主体的な地域参画に関する先導的な取組事例の紹介

例) 放課後子ども教室等の地域による子供たちの学びや子育ての支援、図書館など社会教育施設における起業支援、ガイドボランティア等

○ 高齢者の学習環境及びネットワークづくりについての研究討議

例) 高齢者の学習がコミュニティを形成・活性化させる好循環の確立方法、ネットワークづくりのノウハウの共有、高齢者の知識欲求、余暇時間の有効活用、健康と仲間づくりのための学習環境整備、定年前後世代のキャリア形成を目的とした高齢者の特性を踏まえた学習機会の充実、その他、高齢者教育に関する取組の先駆者や専門家からの講演等

立教大学フォーラム

- 開催日 平成28年3月2日(水曜日)
- 場 所 立教大学池袋キャンパス
- 参加者数 126人
- 主催 文部科学省、立教大学

北秋田フォーラム

- 開催日 平成28年3月13日(日曜日)
- 場 所 北秋田市中央公民館
- 参加者数 180人
- 主催 文部科学省、東京大学、北秋田市高齢者いきいきプロジェクト実行委員会

大分フォーラム

- 開催日 平成28年3月6日(日曜日)
- 場 所 大分県立社会教育総合センター
- 参加者数 125人
- 主催 文部科学省、東京大学、大分県立社会教育総合センター

東京大学フォーラム

- 開催日 平成28年3月24日(木曜日)
- 場 所 東京大学本郷キャンパス
- 参加者数 103人
- 主催 文部科学省、東京大学

